

第63回東海北陸中学校長会研究協議会

石川大会 開催要項



(写真提供 金沢市)

令和5年7月6日(木)・7日(金)

東海北陸中学校長会
石川県小中学校長会 中学校長会

第63回 東海北陸中学校長会研究協議会 石川大会

余寒の候、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、東海北陸7県より会員の皆様をお迎えし、第63回東海北陸中学校長会研究協議会石川大会を、加賀百万石の歴史と伝統ある町金沢で開催できますことを大変光栄に感じております。開催時期に新型コロナウイルスの感染状況がどのようになっているかは予測できませんが、石川県中学校長会としましては参集型での開催にこだわり、皆様にとって実り多き大会となるよう、そして石川県の魅力を十分に味わっていただけるよう、総力を挙げて準備を進めているところです。

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、子どもたちの資質・能力を確実に育成するため、私たちは学校経営の更なる充実と学校からの教育改革を進めていかねばなりません。一方で、コロナ禍における学習指導要領の着実な実施、教職員の働き方改革、部活動の地域移行など、私たちの前には様々な課題が山積しています。

本大会において、会員一人一人が中学校教育への熱い思いと各中学校における実践と成果を結集し、分科会研究題に迫る活発な議論が進められることで、中学校教育の更なる向上につながる機会としていきたいと考えております。

金沢の地で多くの会員の皆様にお会いできることを心待ちにしております。

令和5年2月

第63回東海北陸中学校長会研究協議会
石川大会実行委員長 由井 力

I 大会要項

- 主 題** 「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」
- 主 催** 東海北陸中学校長会 石川県小中学校長会中学校長会
- 後 援** (予定) 石川県教育委員会 金沢市教育委員会 石川県市町教育委員会連合会
全日本中学校長会
- 期 日** 令和5年7月6日(木)～7日(金)
- 会 場** **【全体会】**
石川県立音楽堂コンサートホール
〒920-0856 石川県金沢市昭和町20-1 TEL：076-232-8111
【理事会・レセプション】
ホテル金沢
〒920-0849 石川県金沢市堀川新町1番1号 TEL：076-223-1111
【分科会・分科会打ち合わせ】
石川県立音楽堂交流ホール
〒920-0856 石川県金沢市昭和町20-1 TEL：076-232-8111
ホテル金沢
〒920-0849 石川県金沢市堀川新町1番1号 TEL：076-223-1111
金沢市文化ホール
〒920-0864 石川県金沢市高岡町15番1号 TEL：076-223-1221
金沢商工会議所
〒920-8639 金沢市尾山町9-13 TEL：076-263-1153

6 日 程

(1) 7月6日(木)の全日程

	11:00	12:00	13:00	13:30		16:40	18:00	20:00
6日 (木)	理事会	分科会 打合会	受付	分科会 (研究協議)		受付	レセプション	

(2) 7月7日(金)の全日程

	8:45	9:10	9:50	10:50	12:10	12:30
7日 (金)	受付	全体会 I	文部科学省 説明	記念講演	全体会 II	

(3) 7月6日(木)の日程

理事会	分科会打合せ	分科会(研究協議)
11:00～12:00	12:00～13:00	13:30～16:40
<ul style="list-style-type: none"> ○開催県会長挨拶 ○令和4年度会務・会計報告 ○令和5年度事業計画・予算 ○大会宣言文・決議文 ○石川大会概要説明 ○次年度開催県より ・福井県(基本構想等) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 昼食 ○挨拶 ○分科会の流れ確認 ・司会者、発表者打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ○開会の言葉・司会者挨拶 ○研究協議 ・口頭発表 ・研究協議 ・司会者まとめ ○閉会のことば

(4) 7月6日(木)分科会 会場および研究題・発表・司会の分担

分科会	研究題	口頭発表	司会	会場
1	「カリキュラム・マネジメント」の推進	福井 富山	福井 石川	ホテル金沢 4F エメラルド
2	「主体的・対話的で深い学び」の実現	三重 石川	三重 石川	ホテル金沢 2F ダイヤモンドA
3	よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実	愛知 富山	富山 石川	金沢商工会議所 1F ホール
4	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	静岡 三重	静岡 石川	金沢商工会議所 2F 大会議室
5	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	岐阜 愛知	愛知 石川	金沢商工会議所 2F 研修室
6	自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実	福井 静岡	福井 石川	金沢市文化ホール 2階 大集会室
7	多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成	石川 岐阜	岐阜 石川	ホテル金沢 2F ダイヤモンドBC
8	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現	愛知 富山	富山 石川	音楽堂 交流ホール

(5) 分科会参加人数 (各県 60% 石川 100%)

	三重	静岡	福井	岐阜	愛知	富山	計 (石川他)	石川	計	グループ数
会員数	146	254	72	177	412	76	1137	84	1221	
参加者数 (60%)	89	153	44	107	248	49	690	84	774	
第1分科会	15	21	8	18	43	8	113	10	123	19
第2分科会	14	24	6	17	42	8	111	9	120	19
第3分科会	9	15	5	13	23	5	70	9	79	12
第4分科会	8	13	4	8	20	5	58	11	69	10
第5分科会	8	13	3	10	22	5	61	10	71	11
第6分科会	10	21	5	12	29	5	82	12	94	14
第7分科会	14	26	7	17	36	8	108	10	118	18
第8分科会	11	20	6	12	33	5	87	13	100	14
分科会参加者数	89	153	44	107	248	49	690	84	774	

(6) 7月7日(金)の日程

受付	全体会Ⅰ	文部科学省説明	記念講演	全体会Ⅱ
8:45～9:10	9:10～9:50	9:50～10:50	10:50～12:10	12:10～12:30
エントランス ホール	コンサートホール ○開会式 ・国歌 ・開会の挨拶 ・来賓祝辞 ・来賓紹介	コンサートホール ○行政説明 文部科学省	コンサートホール ○演題 「地域の活性化と 観光産業」 ○講師 小田 禎彦 氏	コンサートホール ○大会宣言・決議文 ○閉会式 ・次年度開催県 挨拶等

7 記念講演

・演題 「地域の活性化と観光産業」

・講師 石川県和倉温泉 加賀屋 代表取締役 小田 禎彦 氏

・略歴 1940年生まれ。立教大学経済学部経営学科卒業後、1962年(株)加賀屋に入社し専務取締役、代表取締役社長、代表取締役会長、代表取締役相談役、相談役を経て、2022年9月10日より現職(代表取締役)。現在、石川県観光連盟顧問、七尾商工会議所特別顧問、能登半島広域観光協会名誉理事長、株式会社香島津(能登食祭市場七尾フィッシャーマンズワーフ)代表取締役を務める。

2003年5月政府選定の「観光カリスマ」に選ばれる。2004年4月七尾市と姉妹都市提携しているアメリカ・モンレー市より4月28日を「小田禎彦の日」として制定される。2016年加賀屋は旅行新聞社主催第41回「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で36年連続総合1位を獲得。2022年第48回で総合1位に返り咲いた。

8 大会参加費 7,500円

9 大会事務局 東陸中石川大会事務局(石川県小中学校長会事務局)

〒920-0918 石川県金沢市尾山町10番5号 石川県文教会館内

TEL 076-262-4916 FAX 076-262-9788

E-mail ; isikawa-chukochokai@alto.ocn.ne.jp

Ⅱ 東陸中石川大会研究協議の概要

1 研究主題

「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」

2 研究構想

今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが成人して社会で活躍する頃には、我が国は新たな局面を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少やグローバル化の一層の進展、人工知能（AI）の飛躍的な進化をはじめとする絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変化し続けており、近い将来の予測すら困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが必要である。そうした中、我が国は、IoT（Internet of Things）や人工知能（AI）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、必要な情報が必要なときに提供されるような新たな社会（Society5.0）の仕組みづくりに挑み始めている。さらに、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、社会秩序や人々の生活等を一変させるような事態と子どもたちが常に隣り合わせにあることを実証することとなった。この先にある時代を担う子どもたちには、様々な変化に主体的に向き合うとともに我が国の伝統や文化に立脚し、高い志や意欲をもつ自立した日本人として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、よりよい社会を形成していく力を身に付けることが求められている。

令和3年度から全面実施となった学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を生かし、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指して、確かな学力の育成や道德教育の充実、体験活動の重視、豊かな心や健やかな体の育成を改訂の基本的な考え方としている。そのことを踏まえて各学校において、生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていく「カリキュラム・マネジメント」に努めるものとしている。また子どもたちが、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするために、我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められるとしている。

一方、中学校教育の現状を見ると、いじめの問題をはじめ、暴力行為、パソコンやスマートフォン等を利用した問題行動、規範意識や社会性の未成熟、学習意欲の低下など、様々な課題が指摘されている。これらの課題の解決を図るとともに、自殺の防止や不登校生徒への支援等に取り組み、子どもたちの命や安全を守るためにも、教職員の力だけでなく、家庭や地域の教育力を生かしたり関係機関との連携を図ったりしていくことが必要である。そのために、学校は従来から閉鎖的と言われる体質から抜け出し、「地域とともにある学校」に転換していくことが求められている。

中央教育審議会の『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子どもたちの

可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」では、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、子どもたちの資質・能力を確実に育成するためには、学習指導要領を着実に実施していくことが重要であるとしている。その上で、2020年代を通じて実現を目指す新しい時代を見据えた学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、「個に応じた指導」を学習者の視点から整理した概念である「個別最適な学び」と、これまでも「日本型学校教育」において重視されてきた「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指すとしている。その実現のためには、これまでの学校教育が担ってきた、学習機会と学力を保障するという役割、全人的な発達・成長を保障する役割、人と安全・安心につながるができる居場所としての福祉的な役割を継承しつつ、学校教育を社会に開かれたものとしていくこと、学校教育を支える全ての関係者が、それぞれの役割を果たし、互いにしっかりと連携することで必要な改革を進めていくことが期待されている。また、教師の勤務時間管理の徹底や学校及び教師が担う業務の明確化・適正化、教職員定数の改善充実、専門スタッフや外部人材の配置拡充などの学校における働き方改革を強力に推進すること、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資するよう、これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで、学校教育における様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげられるように、GIGAスクール構想を実現することも期待されている。

東海北陸中学校長会は、全日中新教育ビジョンの趣旨を踏まえ、学校における働き方改革を含めた新たな教育課題に対しても果敢に挑戦し、校長相互の資質向上と目的を明確にした研究を推進することにより、学校経営の更なる充実と学校からの教育改革を進めていかなければならない。そこで、令和5年度第63回東海北陸中校長会研究協議会石川大会において、「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」を研究協議会主題として研究を深め、我が国の中学校教育の向上に資するとともに、国民の負託に応えたい。

3 分科会研究題と研究の視点

第1分科会 「カリキュラム・マネジメント」の推進

予測困難で急激に変化する社会に生きる生徒たちは、未知の状況に対応し、新しい時代を切り拓いていく力を身に付けなければならない。そのため学校には、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を形成するという目標を社会と共有しながら、生徒たちに育成すべき資質・能力を具体的かつ明確に示し、社会と連携・協働して育んでいくための「カリキュラム・マネジメント」を推進することが求められる。

生徒たちが豊かな創造性を備え持続可能な社会の形成者となるためには「生きる力」が必要であり、その資質・能力の柱は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」である。そこで各学校においては、教科等の目標や内容を見通し、特に学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や現代的な諸課題に対応して求められる力の育成のために、教科等横断的な学習の充実や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等が求められており、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」に努めることが必要である。

〔研究の視点〕

- ① 全面実施となった学習指導要領に基づく教育課程の実施状況を把握し、その改善を図る

ための学校評価の在り方

- ② 豊かな人生の実現や感染症・災害等を乗り越えて次代の社会を形成するために、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科等横断的な視点で育成していく教育課程の編成・実施・評価
- ③ 地域の人的・物的資源を有効活用した社会に開かれた教育課程」の編成・実施・評価

第2分科会 「主体的・対話的で深い学び」の実現

生徒たちが、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、「どのように学ぶか」という学びの質が重要になる。学びの質は、生徒たちが様々な社会の変化に向き合い、主体的に学ぶことの意味と自分の人生や社会の在り方を結び付けたり、多様な人との対話や書物等を通して考えを広めたり深めたり、各教科等で身に付けた資質・能力を様々な問題の発見や解決に生かすよう学びを深めたりすることによって高まる。教員には、習得・活用・探究という学びの過程全体を見渡し、個々の内容事項を指導することによって育まれる資質・能力を自覚的に認識しながら、子どもたちの変化等を踏まえつつ自ら指導方法を不断に見直し、改善していくことが求められる。加えて、対面指導の重要性、オンライン教育等の実践で明らかになる成果や課題を踏まえ、発達の段階に応じて、一人一台端末の日常的な活用を「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて推進するとともに、日々の授業改善に向けた取組を活性化していくことが必要である。

[研究の視点]

- ① 教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の工夫
- ② 全ての学習の基盤となる言語能力や情報活用能力、問題を発見し解決する能力の向上
- ③ 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による学習評価の検証と改善

第3分科会 よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実

近年、生徒の生活様式が変化し、自然や人間との関わりの希薄さから、生命あるものとの接触が少なくなり、生命の尊さについて考える機会が減少しつつある。このことが生命軽視の軽はずみな言動につながり、深刻ないじめなどの社会的な問題となることもある。その解決のためには、各教科等における道徳教育との関連を図りながら、「特別の教科 道徳」において、発達の段階に即した計画的、発展的な指導や様々な体験活動等を生かす指導など、道徳的諸価値についての理解を基に、人間としての生き方についての考えを深める授業の充実を図り、生徒の道徳性を養うことが必要である。また、教育活動全体の取組を通じて、生徒一人一人の自己有用感に裏付けられた自尊感情を高めることにもつながる指導の工夫も大切である。

さらに、現実の問題に対応できる資質・能力を育むためには、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実するとともに、生徒が自分自身の問題と捉え真正面から向き合い、一面的な見方から多面的・多角的に考え議論していく「考え、議論する」道徳科の授業を実施す

ることが大切である。また、家庭や地域社会と育てたい生徒像を共有し、相互の連携強化を図ることも重要である。

[研究の視点]

- ① 道徳的諸価値についての理解と、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成
- ② 生徒が自ら考え理解し、主体的に道徳性を育むための指導と評価の工夫
- ③ 道徳教育推進教師を中心とした協力的な指導体制の充実

第4分科会 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実

生徒の体力の状況については、これまでの学校の取組により、ゆるやかに上昇してきたが、近年、運動時間の減少やテレビ・ゲーム機・スマートフォン等の映像視聴時間の増加等を背景に伸び悩みの傾向にある。また、生徒を取り巻く環境の変化や人の生命を脅かす感染症の流行等に伴う新たな健康課題に対応した教育が必要であるとの指摘もある。

こうした指摘を踏まえ、生涯を通じて心身ともに健康・安全で活力ある生活を送るために必要な資質・能力を育て、心身の調和のとれた発達を図り、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現する基礎を培う必要がある。特に、食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、関係する教科等において適切に行うよう努めなければならない。

[研究の視点]

- ① 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のもたらした成果を生かし、「する・みる・支える・知る」といった、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現していく資質・能力の育成と体力の向上
- ② 食育の推進及び心身の健康の保持増進や感染症等の予防と対策に関する指導の充実
- ③ 身の回りの生活の安全、交通安全、防災に関する指導や情報化等の進展に伴う事件・事故の防止等の新たな安全上の課題に関する指導の充実

第5分科会 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実

産業構造・就業構造の変化に加え、雇用形態や雇用慣行が多様化・流動化する中で、義務教育修了段階にある生徒たちに対し、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けることができるよう、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」によって構成される「基礎的・汎用的能力」を育成するキャリア教育が求められる。加えて、小・中・高等学校のつながりを明確にしたキャリア教育の充実を図ることが大切であり、令和2年度より児童生徒が活動を記録し蓄積する教材としてのキャリア・パスポートが、すべての小・中・高等学校において導入され、活用されている。

また、一人一人が、多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことのできる生涯学習社会の中で、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、特別活動を要としつつ学校の教育活動全体を通じて組織的かつ計画的な進路指導を行うことが重要である。

[研究の視点]

- ① 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する系統的なキャリア教育の充実
- ② 教育活動全体を通じた組織的・計画的な進路指導の充実
- ③ 学校と地域・社会や産業界等が連携・協働した職業講話や職場体験活動の充実

第6分科会 自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実

学校教育は、集団での生活や活動を基本としており、生徒相互の人間関係の在り方は、生徒の健全な成長と深く関わっている。好ましい人間関係を基礎に、自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成することは、人格のよりよい形成と学校生活の充実の基盤となる。我が国のいじめの背景には、学級内の人間関係に起因する問題が多く指摘されていることから、学級経営と生徒指導の関連を図った、学級活動の充実がいじめの未然防止の観点からも一層重要となる。そのために、学級活動をはじめとする特別活動や部活動は、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築き、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う重要な役割をもつ。

平成25年に施行されたいじめ防止対策推進法に基づき、組織的な対応と関係機関との連携の強化等が図られた。しかし、いじめの問題、自殺などが依然として発生しており、不登校も増加傾向にあることを踏まえ、各学校では組織的、継続的な支援・取組を更に充実させるとともに、家庭や地域及び関係機関、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフ等との連携を一層充実させる必要がある。

[研究の視点]

- ① 好ましい人間関係を築き、他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する特別活動、部活動等の在り方
- ② いじめの問題への対応や自殺の防止及び不登校生徒への支援の在り方
- ③ 家庭や地域及び関係機関、専門スタッフ等との連携・協力を密にした生徒指導の推進

第7分科会 多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成

変化の激しい社会を生き抜いていける人を育成していくためには、教員自身が技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、その時々状況に応じて子ども一人一人の学びを最大限に引き出す役割を果たすことが求められる。今後、改めて教員が高度専門職業人として認識されるためには、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続け、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質・能力を高めていくことのできる力が必要とされる。

そのためには、教員一人一人が専門職としての高度な知識・技能と、個々の生徒の多様な実態を踏まえた一人一人が抱える課題に個別に対応できる指導力を身に付けるとともに、高い倫理観に立ち、使命感溢れる指導を行って、生徒や保護者、地域の信頼を獲得することが不可欠である。

また、教員養成段階から、生徒にプログラミング的思考、情報モラル等に関する資質・能

力も含む情報活用能力を身に付けさせるためのICT活用指導力を養成することや、学習履歴（スタディ・ログ）の利活用などの教師のデータリテラシーの向上に向けた教育などの充実を図っていくことが求められており、教員に対してはICT活用指導力の一層の向上を図ることが急務である。さらに、心理や福祉等の専門スタッフなど多様な人材と協力したり、地域と連携・協働を円滑に行ったりする資質・能力をもち、諸課題の解決に取り組むことができる人材の育成が求められる。

[研究の視点]

- ① 生徒や保護者、地域の信頼に応えられる教員の育成と研修の在り方
- ② 教科等の専門性と指導力、及びICT活用指導力を含めた新たな課題に対応できる力量を高める人材育成と研修の在り方
- ③ 地域等と協働し、組織的に諸課題の解決に取り組むことができる教員の育成

第8分科会 学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現

学校には、これまでも新たな課題に応じて、司書教諭、栄養教諭等の新しい職が導入されてきた。近年は、ますます複雑化・多様化する教育課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の教員以外の専門スタッフが導入されている。そのため、これからは教職員間のより一層の組織的対応を強化することはもちろん、すべてを教職員が担う自己完結型の運営を廃し、これら専門スタッフとの協働を推し進め、学校内の多様な人材がそれぞれの専門性を生かして能力を発揮するチームとしての学校を実現していくことが求められる。

また、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等を活用するなど、チームとしての学校と地域の連携体制を整備していくことで、地域とともにある学校づくりを推進し、社会総がかりで教育を進めていくことも求められる。その結果として、教員が担うべき業務の精選・明確化などを図り、新たに導入されたスクールサポートスタッフ、ICT支援員等を活用し、教員の働き方改革につなげていくことも必要である。

こうした「チーム学校」の実現のため、校長は、これまでの教職員の管理を主とするマネジメントから脱却し、多様な知識・経験を持つ人材との連携を強化し、そうした人材を取り込むことで、社会のニーズに対応しつつ、高い教育力を持つ組織となるためのマネジメントを進めていく必要がある。

[研究の視点]

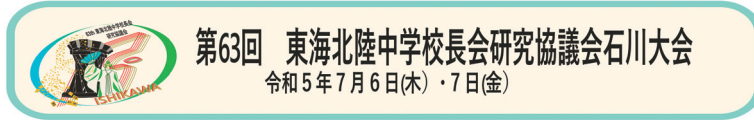
- ① 教職員や多様な人材の専門性を活用し、組織力を高める学校経営の在り方
- ② チームとしての学校と地域の連携・協働体制の在り方
- ③ 専門スタッフ等との連携による教員の働き方改革の在り方

Ⅲ 大会参加・宿泊等の申込み 及び お知らせ

Ⅰ 大会参加・宿泊等の申込みの手順について

【大会参加者にお願ひします】

- ① 石川県小中学校長会WEBサイトより、下記のバナーをクリックします。



- ② R5東陸中石川大会参加申し込みファイル（参加者用）.xlsxをダウンロードし、大会参加申込票（参加者入力用）シートに必要な事項を入力してください。

その後

- (ア) 入力した大会参加申込票ファイル
- (イ) (ア)をプリントアウトしたもの

を、令和5年4月19日（水）までに各県中学校長会事務局へ送ります。

R 5 東陸中石川大会 参加の校長様へ

1 必要項目を入力（入力サンプルを上書きください）後、ファイル名の【所属名・氏名を入力】の部分を変更してください。
2 このファイルを各事務局あてに送信ください。また 印刷したものも各県事務局に送付してください。

は、手入力 は、リストによる入力 は、自動入力となります。

第 63回 東海北陸中学校長会研究協議会 石川大会 参加申込票

【学校名】

都道府県	学校名（正式名）
愛知県（三河）	金沢市立文教中学校

【学校所在地】

郵便番号	都道府県名（自動入力されます）	学校住所
920-0918	愛知県（三河）	金沢市尾山町1-1

【学校電話番号】 学校FAX番号

076-262-4916	076-262-9788
--------------	--------------

【氏名】

氏名（フリガナ）		東陸中役員名等
タナカ イチロウ		男
田中 一郎		

分科会番号	分科会役割
3	発表

【宿泊関係 宿泊日】

7/5(木)	7/6(金)
×	○

大会事務局を通じた宿泊を希望する場合
○ あるいは × を入力してください

R5 東陸中石川大会参加申し込みファイル

【各県事務局にお願いします】

- ① 参加者から送られてきたR5東陸中石川大会参加申し込みファイル（参加者用）.xlsx内の各事務局集約用シートを別途送付するR5東陸中石川大会各県参加者一覧表（〇〇県）.xlsxに値貼り付け、もしくは直接作成するかをし、参加一覧表を完成させます。

参加人数合計		分科会人数		1分科会		2分科会		3分科会		4分科会		5分科会		6分科会		7分科会		8分科会	
0		合計		0		0		0		0		0		0		0		0	

第63回 東海北陸中学校長会研究協議会 石川大会 参加者一覧 「県名」には、愛知県のみ 愛知（三河）愛知（尾張）愛知（名古屋）と入れてください

No.	都道府県	学校名（正式名称）	氏名	氏名（フリガナ）	性別	東陸中役員名等	分科会No.	郵便番号	学校住所	電話番号	FAX番号	宿泊	
												7/5	7/6
例	愛知県（三河）	金沢市立文教中学校	田中 一郎	タナカ イチロウ	女	なし	3	920-0918	金沢市尾山町1-1	076-262-4916	076-262-9788	×	○
この下から貼り付けもしくは 入力をお願いします													
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													

（作成方法1）参加者一覧表データ作成方法について
 以下の手順にて一覧表の作成をお願いします。
 ① 参加者から送られた参加申込票ファイルの『各事務局集約用』シート5行目を全コピー
 ② 本シート9行目以下の貼り付けたい左端の行番号の上で右クリック
 ③ 開いたメニューにある『貼り付けのオプション』から値(V)を選択し貼り付け
 ④ 上記の要領で参加者全員分のデータを張り付け
 ⑤ シート1・2行目の参加人数及び分科会人数に誤りがないかご確認ください。
 ⑥ データ作成後、本エクセルシート名およびファイル名の【都道府県名】を修正いただき、以下のEメールアドレス宛に添付のうえ送信ください。

※ B列の「No.」は修正不要です。（ご入力いただかなくてもかまいません）

R5 東陸中石川大会各県参加者一覧表

- ② 令和5年5月1日（月）までに完成しました参加一覧表の県名を訂正し、次の2カ所にE-mailで送付してください。

・ 東陸中石川大会事務局

isikawa-chukochokai@alto.ocn.ne.jp

・ JTB金沢支店東陸中石川大会係（以降 JTB東陸中石川大会係）

h_yamada102@jtb.com

- ③ 「参加費 7,500円」をまとめて、令和5年5月19日（金）までに所定の銀行口座に振り込んでください。振込銀行口座は、下記の通りです。なお、振込手数料につきましては各県中学校長会事務局でご負担ください。

振 込 先	銀行名 フリガナ	北国銀行 本店営業部 ホッコクギンコウ ホンテンエイギョウブ
	口座番号	普通 021114
	口座名義 フリガナ	東陸中石川大会事務局 トウリクチュウイシカワタイカイジムキョク

- ④ 大会参加費領収書は、各県中学校長会事務局に送付します。

2 お知らせ

- ① 宿泊料金は 8,000円～14,000円の幅を想定していますが、ご希望通りにいかないこともあります。宿泊施設の割り当ては、東陸中石川大会事務局と旅行業者で調整のうえ決定します。

5月末までに宿泊者には、業者より直接「宿泊確認書」と「宿泊費請求書」を送付しますので、令和5年6月9日（金）までに指定の銀行口座に振り込んでください。なお、振込手数料は、各自の負担でお願いします。振込銀行口座は、業者より連絡します。

- ② 参加者の昼食は用意していません。各自でお済ませください。但し、分科会打ち合せに出席の方は、昼食を東陸中石川大会事務局にて準備しております。
- ③ 参加者の服装はノーネクタイとします。なお、上着の着用は自由とします。
- ④ 大会当日、会員証は、必ずご持参ください。（会員証は、分科会当日で配付する名札になります）
- ⑤ 参加ならびに宿泊に関する申し込み、変更、取消については、次のようにお願いします。

(a) 申し込みから6月27日（火）まで

参加者が速やかに各都道府県中学校長会事務局へご連絡ください。各都道府県中学校長会事務局において、取りまとめの上、「第63回 東陸中石川大会 変更・取消 連絡用紙」（別紙）を使って、JTB東陸中石川大会係ならびに東陸中石川大会事務局へFAXもしくはE-mailでご連絡ください。

(b) 6月28日（水）から大会当日まで

参加者が、直接「第63回 東陸中石川大会 変更・取消 連絡用紙」（別紙）を使って、JTB東陸中石川大会係ならびに東陸中石川大会事務局へFAXもしくはE-mailでご連絡ください。なおこの際、各県事務局にもご連絡をお願いします。

宿泊申し込み後、取り消し・変更が生じた場合は、宿泊日の何日前であるかにより、下記の取消料が必要となります。

契約解除の日	取消料（1人につき）
① 宿泊日の5日前日までの間の解除	無 料
② 宿泊日の4日前から2日前までの間の解除	代金の 30%
③ 宿泊日の前日の解除	代金の 40%
④ 宿泊当日（15：00まで）の解除	代金の 50%
⑤ 宿泊当日後の解除または無連絡不参加	代金の 100%

《参加者名簿送付先ならびに変更・取り消し連絡先》

JTB金沢支店 東陸中石川大会係

〒920-0917 石川県金沢市下堤町30

[TEL] 076-264-7075 [FAX] 076-262-6156

[E-mail] h_yamada102@jtb.com

担当者 山田 浩貴・小林 正大・澤井 宏文・松永 憲治

東陸中石川大会事務局

〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5 石川県文教会館内

石川県小中学校長会事務局

[TEL] 076-262-4916 [FAX] 076-262-9788

[E-mail] isikawa-chukochokai@alto.ocn.ne.jp

IV 会場等へのご案内《交通・会場案内》



【分科会会場】 ※○数字は分科会場

- ①・②・⑦ ホテル金沢，③・④・⑤ 金沢商工会議所会館，
- ⑥ 金沢市文化ホール，⑧ 石川県立音楽堂（交流ホール）

【全体会場】

石川県立音楽堂（コンサートホール）・・・JR金沢駅兼六園口（東口）より徒歩1分

【アクセス】

1日目、金沢駅から各分科会会場（南町・尾山神社方面）へは、バスもしくはタクシーをご利用ください。（徒歩で約25分）

2日目、各ホテルから音楽堂へは徒歩で十分可能です。

【ホテル】

㊸～㊿はホテルを示しています、P14の利用宿泊施設一覧をご参照ください。

V 利用宿泊施設ならびに路線バスのご案内

※下記の部屋タイプは全てバス・トイレ付洋室です。

施設名	住所	部屋タイプ	食事条件	MAP	
				最寄りバス停	記号
ホテルマイステイズ 金沢キャッスル	〒920-0852 石川県金沢市此花町10-17	シングル	朝食付	金沢駅東口	A
金沢セントラルホテル	〒920-0847 石川県金沢市堀川町5-3	シングル	朝食付	金沢駅東口	B
金沢マンテンホテル駅前	〒920-0022 石川県金沢市北安江1-6-1	シングル	朝食付	金沢駅西口	C
ホテルビスタ金沢	〒920-0031 石川県金沢市広岡2-13-27	シングル	朝食付	金沢駅西口	D
R & Bホテル金沢駅西口	〒920-0031 石川県金沢市広岡1-3-31	シングル	朝食付	金沢駅西口	E
ガーデンホテル金沢	〒920-0853 石川県金沢市本町2-16-16	シングル	朝食付	金沢駅東口	F
ダイワロイネットホテル 金沢駅西口	〒920-0031 石川県金沢市広岡1-12-17	シングル	朝食付	金沢駅西口	G
ヴィアイン金沢	〒920-0858 石川県金沢市木ノ新保町1-1	シングル	朝食付	金沢駅西口	H
ホテル・トリフィート 金沢	〒920-0853 石川県金沢市本町2-12-1	シングル	朝食付	金沢駅東口	I
ホテル金沢【理事会専用】	〒920-0849 石川県金沢市堀川新町1-1	シングル	朝食付	金沢駅東口	J



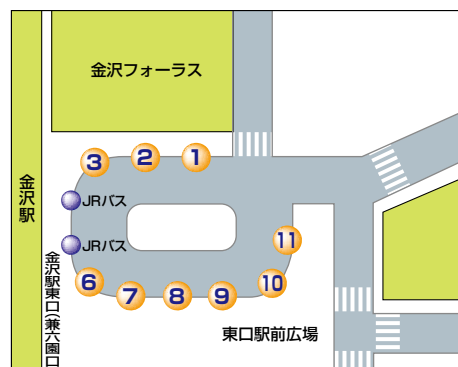
路線バスのご案内（第3・4・5・6分科会参加者の皆様へ）

金沢駅東口（兼六園口）バス乗り場

●金沢駅から分科会場に移動

乗り場⑥～⑪の北陸鉄道 バス南町・尾山神社下車

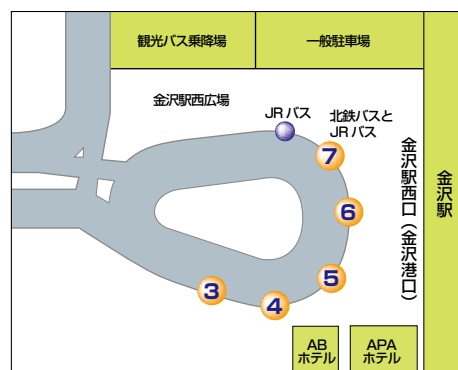
※すべてのバスがご利用いただけます。



金沢駅西口（金沢港口）バス乗り場

●金沢駅から分科会場に移動

乗り場⑤の北陸鉄道 バス南町・尾山神社下車



武蔵ヶ辻・近江町市場、南町・尾山神社バス乗り場

●金沢駅方面に移動

南町・尾山神社バス停

金沢駅行にご乗車ください。

※発着の一部60・61・63系統は金沢駅を經由しません。

※01～07系統は金沢駅西口を經由します。



運賃（後ろ乗り・前降り（降車時精算）

SuicaなどのICカード利用不可）

金沢駅～武蔵ヶ辻・近江町市場、南町・尾山神社間は
大人 200 円



北陸新幹線が開通して以来、県内への観光客増加には目を見張るものがあります。

それに伴い、街並みも大きく変わろうとしています。そういう今だからこそ、石川の歴史と文化を再認識する良い機会ではないかと考えています。

かつては「空から謡が降ってくる」といわれ、親しまれた能楽も独自の発達を遂げ、完成の域に達した「加賀宝生」。また、それを彷彿させる金沢駅の「鼓門」。まだまだ数えたらきりがありません。

石川県では、里山里海を中心とした地域活性化に取り組んでいます。その里山を緑色で、里海を青色で表現しました。また、金沢の伝統工芸である「加賀水引」をイメージして描いた石川県。7本の紐は東海北陸7つの県を表しています。今大会において、この7つの県の強い結びつき（絆）を願っています。

第63回 東陸中石川大会 変更・取消 連絡用紙

※変更があり次第、下記の2つにFAXまたはE-mailをお願いします。
(各県事務局取りまとめの上でお願いします。)

JTB金沢支店 東陸中石川大会係

〒 920 - 0917

[TEL] 076-264-7075 [FAX] 076-262-6156

[E-mail] h_yamada102@jtb.com

担当者 山田 浩貴 ・ 小林 正大 ・ 澤井 宏文 ・ 松永 憲治

東陸中石川大会事務局

〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5 石川県文教会館内

石川県小中学校長会事務局

[TEL] 076-262-4916 [FAX] 076-262-9788

E-mail isikawa-chukochokai@alto.ocn.ne.jp

都道府県名 ()

I 参加者の変更

申し込み時の参加者		変更後の参加者	
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
学校名		学校名	
学校住所	〒	学校住所	〒
電話番号		電話番号	

2 宿泊の変更・取消 (□にチェックを入れてください)

申込者氏名		
	現在の申し込み内容	変更の要望内容
<input type="checkbox"/> 変更		
<input type="checkbox"/> 取消		

※振込後の変更で返金が生じた場合のお客様の口座番号

() 銀行・金庫・組合 () 本店・支店		
普通 ・ 当座	口座番号	
口座名義	フリガナ	